



幼保小中一貫教育プロジェクト

阿久比町小学生海外派遣事業

阿久比町では小学生海外派遣事業として、毎年、小学6年生の児童をシンガポールに派遣しています。8回目となる今回も、10人の元気な子どもたちが異国の地へと旅立ちました。今回は子どもたちの手記から、その様子をお伝えします。

【英比小学校 澤田 碧】

私は、グリーンウッド小学校でゆかたの紹介をしました。ペアの子が「かわいい」と喜んでくれたので、とても嬉しかったです。その後のお手玉遊びでは、ペアの子は私よりも上手で、もっと練習しておけばよかったと思いました。一緒に着たゆかたはプレゼントしてきました。私が説明したことを思い出して、自分でゆかたを着てくれるといいなと思いました。



【東部小学校 青木暖流】

グリーンウッド小学校では、文化の違いを感じました。廊下や階段の壁には、子どもたちが描いた絵などが飾られていました。昼食は、東部小学校では給食係がワゴンを持ってきて配りますが、グリーンウッド小学校には売店があり、自分でご飯を買って食べます。僕は、たくさん子どもたちと、けん玉や竹とんぼなどで楽しく遊んで交流することができました。

【英比小学校 都筑凱登】

グリーンウッド小学校の異文化交流では、折り紙を教えました。僕は手裏剣と紙飛行機の折り方を教え、みんなで投げたり飛ばしたりしました。僕は英語があまり得意ではありませんが、簡単な英語とジェスチャーで、ペアの友達とコミュニケーションが取れたので、うれしかったです。



【東部小学校 藤原光一郎】

グリーンウッド小学校で、僕のペアはリーオン君でした。時々、英語で何を話しているのか分からなかったけれど、一生懸命リーオン君の話を聞いていると、なんとなく分かるようになりました。リーオン君も、僕のためにゆっくりと話をしてくれました。シンガポールの友達はとても優しいなと感じました。